

米子工業高等専門学校		開講年度	平成30年度 (2018年度)	授業科目	文学Ⅱ
科目基礎情報					
科目番号	0004		科目区分	一般 / 選択	
授業形態	講義		単位の種別と単位数	学修単位: 2	
開設学科	建築学科		対象学年	4	
開設期	前期		週時間数	2	
教科書/教材	授業時にプリントを配布する。				
担当教員	渡邊 健				
到達目標					
1. 近現代の短歌を学ぶことを通して、言語感覚を磨き、わが国の言語文化と伝統に対する理解と関心を深め、心情を豊かにすることができる。 2. 近現代の代表的な歌人と歌集、また近現代短歌史の流れについて知る。また、短歌の修辞技巧を知り、その理解ができる。 3. 特定のテーマについて調べ考えて発表する能力や、詩歌を創作したり鑑賞・批評したりする能力の向上を図ることができる。					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安		
	近現代短歌の学習を通じて、わが国の言語文化と伝統に対し、理解と関心を深められている。	近現代短歌の学習を通じて、わが国の言語文化と伝統に対し、一定の理解と関心を持っている。	近現代短歌の学習を通じて、わが国の言語文化と伝統に対し、理解と関心を深められていない。		
	近現代短歌の歌人・歌集、またその歴史について知り、修辞技巧を含む短歌の内容を理解することができている。	近現代短歌の歌人・歌集、またその歴史について知り、修辞技巧を含む短歌の内容を理解することが概ねできている。	近現代短歌の歌人・歌集、またその歴史について知り、修辞技巧を含む短歌の内容を理解することができていない。		
	特定のテーマについて調べ考えて発表する能力や、詩歌を創作したり鑑賞・批評したりする能力が十分に身につけている。	特定のテーマについて調べ考えて発表する能力や、詩歌を創作したり鑑賞・批評したりする能力が概ね身につけている。	特定のテーマについて調べ考えて発表する能力や、詩歌を創作したり鑑賞・批評したりする能力が身につけていない。		
学科の到達目標項目との関係					
学習・教育到達度目標 D-1 JABEE a					
教育方法等					
概要	近現代の短歌について、愛・青春・友情などテーマごとに作品を取り上げ、その豊かな世界を味わう。また、興味のある歌人を取り上げて調べ発表したり、短歌の創作・批評を行う。				
授業の進め方・方法	第1・2週で概説を行い、第3・4週で班ごとに調べ学習を行う。第5週以降は、順次、班によるプレゼン発表を行うとともに、テーマごとに近現代短歌の修辞技巧や、その歴史について解説する講義も行う。学生たちに短歌の創作に取り組ませ、鑑賞・批評してもらうことも考えている。				
注意点	プレゼンを行う班については、第1回の授業で説明する。				
授業計画					
	週	授業内容	週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	授業のガイダンス 1 近現代短歌概説	近世和歌から明治の和歌革新運動、近代短歌の展開などについて理解する。	
		2週	授業のガイダンス 2 作者と作品について	近現代短歌の代表的な歌人とその作品について理解する。	
		3週	近現代歌人についてのグループ調べ学習①	班ごとにどの歌人、どの短歌について発表するかを決め、調べ学習を行う。	
		4週	近現代歌人についてのグループ調べ学習②	班ごとに調べ学習を行った結果をまとめ、プレゼンの発表資料を作成する。	
		5週	近現代歌人とその短歌について①	任意の歌人・その作品について、わかりやすくプレゼン説明することができる／配布資料をもとに内容を理解できる。	
		6週	近現代歌人とその短歌について②	任意の歌人・その作品について、わかりやすくプレゼン説明することができる／配布資料をもとに内容を理解できる。	
		7週	近現代歌人とその短歌について③	任意の歌人・その作品について、わかりやすくプレゼン説明することができる／配布資料をもとに内容を理解できる。	
		8週	前期中間試験	前期中間試験までの内容について理解する。	
	2ndQ	9週	歌論と短歌の鑑賞・批評について	近現代短歌の主な歌論を知り、自らの短歌の鑑賞・批評に役立てることができる。	
		10週	近現代歌人とその短歌について④	任意の歌人・その作品について、わかりやすくプレゼン説明することができる／配布資料をもとに内容を理解できる。	
		11週	近現代歌人とその短歌について⑤	任意の歌人・その作品について、わかりやすくプレゼン説明することができる／配布資料をもとに内容を理解できる。	
		12週	近現代歌人とその短歌について⑥	任意の歌人・その作品について、わかりやすくプレゼン説明することができる／配布資料をもとに内容を理解できる。	
		13週	近現代歌人とその短歌について⑦	任意の歌人・その作品について、わかりやすくプレゼン説明することができる／配布資料をもとに内容を理解できる。	
		14週	近現代歌人とその短歌について⑧	任意の歌人・その作品について、わかりやすくプレゼン説明することができる／配布資料をもとに内容を理解できる。	
		15週	短歌(和歌)の創作と批評	短歌を創作し、班ごとに代表歌を決めて班対抗の歌合を行い、文学作品の鑑賞批評能力を高める。	
		16週	前期末試験	前期末試験までの内容について理解する。	

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週	
基礎的能力	人文・社会科学	国語	国語	論理的な文章(論説や評論)の構成や展開を的確にとらえ、要約できる。	3	
				論理的な文章(論説や評論)に表された考えに対して、その論拠の妥当性の判断を踏まえて自分の意見を述べるができる。	3	
				文学的な文章(小説や随筆)に描かれた人物やものの見方を表現に即して読み取り、自分の意見を述べるができる。	3	
				常用漢字の音訓を正しく使える。主な常用漢字が書ける。	3	
				類義語・対義語を思考や表現に活用できる。	3	
				社会生活で使われている故事成語・慣用句の意味や内容を説明できる。	3	
				専門的分野に関する用語を思考や表現に活用できる。	3	
				実用的な文章(手紙・メール)を、相手や目的に応じた体裁や語句を用いて作成できる。	3	
				報告・論文の目的に応じて、印刷物、インターネットから適切な情報を収集できる。	3	
				収集した情報を分析し、目的に応じて整理できる。	3	
				報告・論文を、整理した情報を基にして、主張が効果的に伝わるように論理の構成や展開を工夫し、作成することができる。	3	
				作成した報告・論文の内容および自分の思いや考えを、的確に口頭発表することができる。	3	
				課題に応じ、根拠に基づいて議論できる。	3	
相手の立場や考えを尊重しつつ、議論を通して集団としての思いや考えをまとめることができる。	3					
新たな発想や他者の視点の理解に努め、自分の思いや考えを整理するための手法を実践できる。	3					

評価割合

	試験	発表	小テスト	レポート	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	70	10	10	10	0	0	100
基礎的能力	70	10	10	10	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0